

あだち放課後子ども教室
地域で育もう！
ふれあいの輪を広げよう！

今月のテーマ 

放課後子ども教室って
どんな場所？

校庭や教室など放課後の学校施設で安全管理スタッフが 見守る中、子どもたちが遊んだり勉強したりして、思い思いに活動する「放課後子ども教室」とは、子どもたちにとって、どんな場所なのでしょう？

●「あー疲れた！楽しかった！」

～洲江第一小学校放課後子ども教室～

放課後、笑顔の子どもたちが目を輝かせて受け付けに集まります。ランドセルを置いて名札を付ける間にも、早く遊びたくて落ち着かない様子。子どもたちは「校庭に行ってきたーす！」とスタッフに声をかけて校庭に飛び出し、サッカーや鬼ごっこ、ボール投げなど夢中になって遊びます。そして、あつという間に終了の時間。額を汗で濡らし、息を弾ませながら受付場所に戻る子どもから一言「あー疲れた！楽しかった！」放課後子ども教室は、子どもたちが自由に楽しく遊びながら、元気な体をつくる場になっています。



いっぱい遊んだ3年生

スタッフを募集している放課後子ども教室があります。詳しくは下記までご連絡ください。

問い合わせ 公益財団法人 足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当

☎ 5813-3732(平日 午前9時～午後5時)

●「ねえ一見て見て！」

～保木間小学校放課後子ども教室～

外遊びだけではありません。授業終了後、急いで受け付けをして多目的室に向かう元気な女の子たちもいます。おもちゃのブロックを出し、色や形にこだわって大きな家や乗り物をつくります。完成すると「ねえ一見て見て！すごいでしょ！」と得意げに見せてくれます。また、ドミノ倒しが大好きな子もいます。広い部屋でたくさんのドミノを使い、友だちと一緒に“大作”をつくります。子どもの集中力や想像力を高める遊び場にもなっています。



完成したブロックを見せてくれました

●「スタッフさん、聞いて……」

～平野小学校放課後子ども教室～

いつも元気な子どもでも嫌なことがあって気持ちが落ち込むことがあります。「スタッフさん、聞いて…」と浮かない顔で話をする子。そんなときにもスタッフは、やさしい顔で話を聞いて励ましたり、ケンカの仲直りのきっかけをつくったりして、少しでも元気になるように声をかけます。放課後子ども教室のスタッフとして協力してくださる地域の方や保護者の皆さんは、温かく子どもたちを見守っています。



子どもの話に耳を傾けるスタッフ